

ボーイスカウト歌集

第一集



ボーイスカウト日本連盟

この歌集に収めた歌曲のうち標題に★印をつけたものは、
その全部又は一部の著作権を財団法人ボーイスカウト日本連
盟或はその関係者が所有するものである。従ってこれ等を無
断で転載複製することを禁じます。

—著作権所有・禁複製転載—

ボーイスカウト歌集（第二集）

昭和35年2月1日 初版 発行

昭和40年6月10日 第8版 発行

東京都中央区勝どき5-7-8

発行 財団法人 ボーイスカウト 日本連盟

(価格 60 円)

(65061005)

Legato	レガート	なめらかに
Leveza	レヴェッツア	軽快に
Marcato	マルカート	はつきりと
Maestoso	マエストゾ	莊重に
Marziale	マリチアーレ	行進曲風に
Molto	モルト	甚だしく
Passionamente	パッションメンテ	感情的に
Spirito	スピリト	熱心に
Morendo	モーレンド	次第に消える様に
Umore	ウモーレ	諧謔的に愉快な気分で
Vivace	ヴィヴァーチェ	快活に速く

ボーイスカウト歌集

第二集



ボーイスカウト日本連盟

<i>Accelerando</i>	アッチャレランド	} だんだん速く
<i>Stringendo</i>	ストリンジエンド	
<i>Ritardando</i>	リターダンド	} だんだんゆつくり
<i>Rallentando</i>	ラレンタンド	
<i>Piu mosso</i>	ピウモッソ	急に速く
<i>Meno mosso</i>	メノ モッソ	
<i>A Tempo</i>	ア テンポ	元の速度に

7. 普通に用いられる速度記号

例 M. M. $J = 69$

この様な記号がよく楽譜の左上に書いてあるのを見かける事がある。
M. M. は Maelzel's Metronome (メルツエルス メトロノーム)
と言つてメルツエルス氏の考案したメトロノームで計つて
四分音符が一分間に 69 を数えるだけの早さと言う事である。
歌集の一番最初にある君が代が丁度この早さである。

8. 普通に用いられる発想記号（表情記号）

<i>Agitato</i>	アシタート	せき込んで
<i>Animato</i>	アニマート	いきいきと
<i>Calando</i>	カランド	次第におだやかに
<i>Cantabile</i>	カンタビーレ	歌うように
<i>Comdo</i>	コモド	おだやかに
<i>Con brio</i>	コンブリオ	勇ましく
<i>Dolce</i>	ドルツエ	美しく
<i>Echeggiare</i>	エケッジアーレ	木魂して
<i>Espressivo</i>	エスプレッシーボ	表情をこめて
<i>Giojante</i>	ジョヤンテ	楽しげに
<i>Gragioso</i>	グラツィオーソ	優美に

5. 強弱記号

<i>f f</i>	フォルティシモ	非常に強く
<i>f</i>	フォルテ	強 <
<i>m f</i>	メッツオ フォルテ	少し強く
<i>m p</i>	メッツオ ピアノ	少し弱く
<i>p</i>	ピアノ	弱 <
<i>p p</i>	ピアニシモ	非常に弱く
<i>s f</i>	スフォルッアップ	特にその音を強く
<i>s f p</i>	スフォルッアップ ピアノ	強く急に弱く
<i>cresc.</i>	クレッシェンド	だんだん強く
<i>decrsc.</i>	デクレッシェンド	だんだん弱く

6. 緩急記号

<i>Accel</i>	アッチャレラント (Accelerando)	だんだん急速に
<i>Rall</i>	ラレンタンド (Rallentando)	
<i>Rit</i>	リタルダンド (Ritardando)	だんだん遅くする
<i>atempo</i>	アテンポ	本来の速度にもどる
<i>Largo</i>	ラルゴ	
<i>Adagio</i>	アダジオ	非常にゆるやかに
<i>Lento</i>	レント	
<i>Larghetto</i>	ラルゲット	ゆるやかに
<i>Andante</i>	アンダンテ	
<i>Andantino</i>	アンダンティーノ	
<i>Moderato</i>	モデラート	中位の速度で
<i>Allegretto</i>	アレグレット	少し速く
<i>Allegro</i>	アレグロ	速 <
<i>Animato</i>	アニマート	
<i>Presto</i>	プレスト	
<i>Prestissimo</i>	プレスティシモ	非常に速く

「歌はレクリエーションである」と良く言われる。たしかにそれももっともだと思う。

レクリエーションとは「生活に満たされないものを満たし、その結果、生活を明るく楽しく、そして美しく心ゆたかに、しかも建設的にする」ことである。

しかし、スカウトの歌には、それだけでは割り切れないものがある。その中には、スカウト生活に最も必要とされている人間としての正しさ、スカウトとしての勇気、友情をかぎりなく燃え立たせてくれるものがたくさんある。その意味でスカウトの歌は心のかたである。

スカウトは、スカウト歌集にあるだけの歌曲しか歌ってはいけない、ということではない。スカウトらしさに逆らうものでさえなければ歌集に掲載されている以外のものでも歌わせてよい。ただし、その選定はスカウト指導者の良識にたよる外はない。

目 次

永遠のスカウト	1
名誉にかけて	2
われらの旗	3
わが道を貫く	4
あがれ隊旗	5
清き風	6
夜明け	7
めざめよ	8
楽しキャンプの朝	8
朝だ元気で	9
朝	10
キャンプの朝	11
岩をぶっちわり	13
若き集い	14
谷間のキャンプ	15
村の道ぶしん	16
畠野を越えて	19
ハイキング	20
楽しいぼくらのハイキング	21
雄々しく歩まん	22
春の陽はうらら	23
こだま	24
うたえ歌を	24
森の仲間	25
わが旗かぎし	26
キャンプまであと10マイル	27

ハ 調

ト調 ニ調 イ調 ホ調
ヘ調 変ホ調 変ド調 変イ調

例 主音
ト調 ファソラシドレミ ファソラシドレ

派生音

最低部音 低 部 音 基 础 音 高 部 音

中央の(ハ)

ピアノ、オルガン、等の白鍵の音を幹音といい黒鍵の音を派生音という。
そして派生音を表す為に付けた記号を変化記号という。

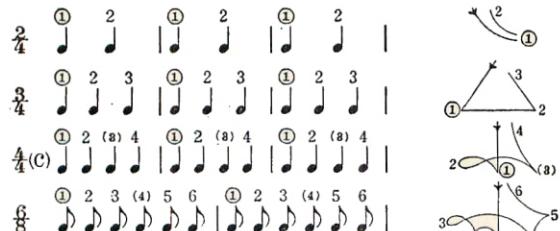
休む長さは夫々同じ名前の音符の長さと同じである。

長さの比較

全 休 止 符	— (4)	二分休止符	— (2)
四 分休止符	× (1)	八分休止符	× (½)
十六分休止符	× (¼)		

3. 拍 子

音部記号の右に分数の様なものが書いてある。これを拍子記号といつて書くことがある。この分母にある数字はいつも1拍に数える音符の種類を示し、分子は一小節(五線を仕切った縦線と縦線との間)内を何拍に数えるかを表す。例えば $\frac{2}{4}$ (四分の三拍子)ならば四分音符を一拍として一小節内を三拍に数えるのである。分子の数を読んで二拍子、三拍子、四拍子等と言う。小節の内で音の強弱と、手や指揮棒で多勢に拍子を知らせるのは次様なのが普通である。



○は強拍 () は稍強拍

六拍子では早くなると二拍子になる。

4. 調 子

音部記号 と拍子記号 との間にシャープ # やフラット b がいくつか記されていることがある。これは調子記号といつて何調の曲であるかを示している。その主なものとその調子母の主音(doの音)の在り場所は次の通りである。

美しい湖水	28
はるの山たのし	29
ゆうべのうた	31
かがり火	32
森の火	33
冬の星座	34
友を想う	35
まどい	36
別れの營火	37
名残りの營火	38
キャンプファイア	39
おやすみなさい	40
班会議の帰り路	41
忘れ難き山中	43
家路さして	44
山中のお話	45
平和の騎士	46
雄松岬の歌	48
きつま汁の歌	49
沖縄の英靈に捧げる歌	50
ジャンボリー(第2回世界ジャンボリー)	51
世界の健児(第3回世界ジャンボリー)	52
Jamboree(第3回世界ジャンボリー)	55
Jamboreeruf(第7回世界ジャンボリー)	56
Jamboreelied(第7回世界ジャンボリー)	57
New Horizons(第8回世界ジャンボリー)	58
Jamboree Song(ジュビリージャンボリー)	59

簡単な楽譜の知識

Jamboree (第10回世界ジャンボリー)	62
ジャンボリー (第1回日本ジャンボリー)	63
ジャンボリー (第2回日本ジャンボリー)	64
お医者さん.....	67
リュックサックの歌.....	69
ニコニコの歌.....	70
Sarasponda	71
Sim Bom Bom.....	72
Holdria Kuck	73
カマテ カマテ.....	74
ヒラミルパニア.....	75
Aacha Paacha Noocha	76
Kookaburra	77
Zun Gali Gali	78
山の端に月昇る頃.....	79
わが山の家.....	80
峠のわが家.....	81
箱根の山.....	82
菩提樹.....	83
椰子の実.....	84
赤とんぼ.....	84
はにゅうの宿.....	85
荒城の月.....	85
故郷を離るる歌.....	86
故郷の廃家.....	87
旅 憐.....	87
谷間のともしび.....	88
雪の朝.....	88

1. 音部記号

楽譜の一一番初めに書いてある符号これを高音部記号と言ふ。この記号の書きはじめは五本の線の下から二番目の線(第二線)である。この第二線の音がト(sol)の音なのでこの符号をト音記号とも言う。この記号を付けた譜表には高い音の譜を書き、低い音は低音部記号を付けた譜に書くのが普通である。この低音部記号の書き初めは上から二番目の線(第四線)である。この第四線の音がヘ(fa)音なので、この記号をヘ音記号とも言う。高音部記号と低音部記号との関係は、前者の五線の下へ一本書き添えた線(下第一加線)の音と後者の五線の上へ一本書き添えた線(上第一加線)の音と同じである。(この場合この音をハ(do)音という)
上下の五線の間はもっと広く書くのが普通だが合せて十一本の線があるものと思えばよい。

2. 音符

音の長さを表わす記号を音符といい、次のような種類がある。

長さの比較	長さの比較
全 音 符 ○ (4)	二 分 音 符 ♪ (2)
四 分 音 符 ♩ (1)	八 分 音 符 ♩ (½)
十六 分 音 符 ♩ (¼)	三十二 分 音 符 ♩ (⅛)

音符の右に点の付けられた場合(附点音符)は本来の長さに、その半分の長さを加えた長さになる。例えば符点四分音符は四分音符と八分音符と加えた長さである。 $\text{♩} = \text{♩} + \text{♩}$

同じ音符が二つ以上続くときは $\text{♪} \text{♪} = \text{♪}$ の様に表わすこともある。音を出さないで休むときは休止符を使う。



* 永遠のスカウト
(Once a Scout, always a Scout)

中村 知 作詞
作曲

Andantino maestoso

ひとた一びスカウトに
ちかいをたててなりし身は
いつもいつもしもスカウトだ

1. 一度スカウトに ちかいをなでてなりし身は いつもいつもスカウトだ
2. 一度スカウトに ちかいをたててなりし身は いまのいまもスカウトだ
3. 一度スカウトに ちかいをたててなりし身は 死ぬときまでスカウトだ
4. この世のスカウトに 命捧げてつかえなば 死して後もスカウトだ

(註) これはベーデン・パウエル卿と親交あり、かつ協働者として有名なキッチナー元帥の名句 "Once a Scout, always a Scout" を歌によって説明する意図で1948年作った。(作者)

* 名誉にかけて

(On My Honor)

三輪谷 訳詞
ハーリーバッテルト作曲

Moderato maestoso
melody in second

The musical score consists of five staves of music for voice and piano. The lyrics are written below each staff in both Japanese and English. The piano part includes bass and harmonic notes.

Staff 1:

つづまし くさき げん まこと をかみ
On my hon - or I'll do my best to do my du - ty to

Staff 2:

に to
God. はこ りも てささ げん まこと
On my hon - or I'll do my best to serve my

Staff 3:

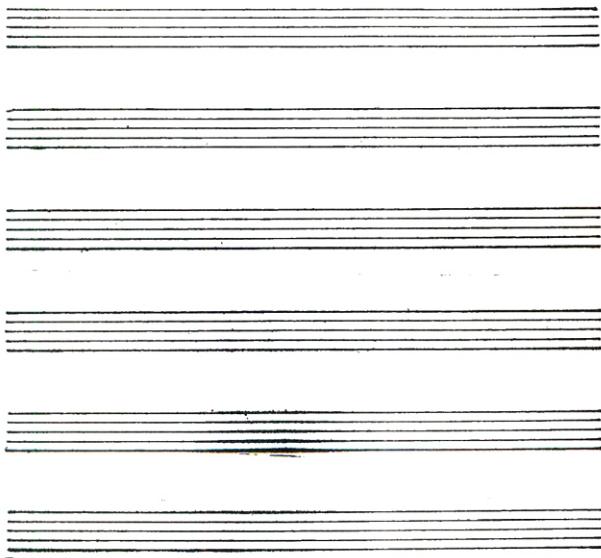
と to
serve as I くにに may.
を coun - try as I に may. かん しゃ の まこと
On my hon - or I'll do my

Staff 4:

と to
serve as I くにに may.

Staff 5:

は一日々の 善行 一に つよきから
best to do my Good Turn each day To keep my bo - dy



(strangsund) (weikund)

だと よ きこころもて と わ にもと
strength-en and keep my mind a - wak-en. To fol - low paths of

(raitas)

めゆかんめい よーに かけて ぞー
right-eous-ness, On my Hon - or I'll do my best.

* われらの旗

古田誠一郎 作詞
作曲

Spirito

1.このーはたはこのーはたは
2.このーはたはこのーはたは

われらのくーにーのめい よのしるし
われらのくーにーのせいぎのしるし

ひとりひーとりのこころのしるし
ひとりひーとりのちからのしるし

* わが道を貫く

山口勝治 作詞
作曲

Andantino spirito

Musical score for 'わが道を貫く'. The score consists of two staves of music in 3/4 time, G major. The vocal line is in soprano clef, and the piano accompaniment is in bass clef. The lyrics are written below the notes. The score is followed by a blank page with ten sets of five-line staff notation.

もえ た つみど りーの なす の がはら に
つど い てきわ めーん スカウトのみ ち

1. 前え立つ 緑の那須野が原に

つどいて きわめんスカウトの道

2. 行手ははるかに 荒れすさむとも

貫きてこそ 道となりぬれ

(註) 冬ならば——「白雪ふりつむ那須野が原に
とうたう。」

谷間のともしび

Allegretto legato

Solo *mp*



たそがれに吾が家の灯 窓にうつりしとき
吾が子帰る日祈る 老いし母のすがた
谷間灯ともしころ いつも夢に見るは
あの灯あの窓こいし 故郷の吾が家

雪の朝

大和田建樹 作詞
ヴェーベル 作曲



い ちーどーには なーさーく か れ のーぐー さ ーば

1. 一度に花咲く 枯野の草場

何処にも春めく 冬木の桜
うつくし 雪降る景色
おもしろ 朝の眺め

2. 緑もかくるる 園生の松葉

姿もうもるる 垣根の菫葉
暮まで降れ 降れ雪よ
明日まで積め 積め雪よ

*あがれ隊旗

古田誠一郎 作詞
ドイツ民謡

Andantino brillante



あ が れ た い き こ の は た こ そ

わ れ ら の ま え に す す む 一 は た ぞ

こ こ ろ あ わ せ て わ れ ら 一 も ゆ か ん

あがれ隊旗 この旗こそ

われらの前に すすむ旗ぞ

心あわせて われらも 行かん

(註)「あがれ隊旗」のところだけ下譜がメロディー

* 清き風

Marcato

ドイツ民謡
古田誠一郎編曲

1. われらのくにの はなひるがえ
2. さかしきやまに いばらのもり

る むねいっぽいに きよきかぜをすえ
に みちをひらきしとものあとをおい

ば こころもさやになりぬなり
て われらもともにゆかなんゆか

ぬなん さやにななりぬ
いざやゆかなん

1. われらの国の 肌じるがえる

胸一杯に 清き風を吸えば

心もさやになりぬ なりぬ

さやになりぬ

2. さかしき山に 次の森に

道を開きし 友のあとを追いて

われらも共に行かなん 行かなん

いざ行かなん

故郷の廃家

外国曲

いくとせふるさときてみれば

1. 幾年故郷來て見れば 咲く花鳴く鳥そよぐ風
門辺の小川のささやきも 駐れにし昔に変らねど
荒れたる我家に 住む人絶えてなく
2. 昔を語るかそよぐ風 昔を写すか澄める水
朝夕かたみに手を取りて 遊びし友人今いづこ
さびしき故郷や さびしき我が家や

旅愁

犬童球溪 作詞
オードエイ 作曲

ふけゆく あきのよ たびのそらの

1. 更けゆく秋の夜 旅の空の
枕しき思いに 一人なやむ
恋しや故郷 なつかし父母
夢路に迷るは 郷の家路

2. 窓打つ嵐に 夢もやぶれ
遙けき彼方に 心迷う
恋しや故郷 なつかし父母
思いに浮ぶは 森の梢

故郷を離るる歌

吉丸一昌 作詞
ドイツ民謡



そののさゆーりなーでしこーかきねのちぐーさ

1. 園の小百合 捫子 埴根の千草

今日は汝を眺むる おわりの日なり
思えば涙ひざをひたす さらば故郷
さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

2. つくし摘みし 丘べよ 社の森よ

こぶなつりし 小川よ 柳の土手よ
わかるるわれを あわれと見よ さらば故郷
さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

3. ここに立ちて さらばと 別れを告げん

山のかけの 故郷 静かに眠れ
夕日は落ちて たそがれたり さらば故郷
さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

夜明け

Moderato amabile

尾崎忠次 作詞
インドネシア民謡
高津トシ 探譜

*めざめよ

(輪唱)

古田誠一郎 作詞
イギリス古曲

よあけだしののめ
Morning is come.

夜はしおれのめ
Night is a way.

あさひのぼる一めざめよ
Rise with the sun and welcome the day.

1. 夜明けだしののめ 草日のはる 日ざめよ
2. 葉末の朝つゆ 照る日にきらきら 光るよ
3. 梢の小鳥も 青い空に さえずる
4. いざいざ おきいで 声をあわせて おはよう

*楽しキャンプの朝

尾崎忠次 作詞
ドイツ民謡

たのしキャンプのあさことりはさえずり

たにがわのみずうたいあさひはほえむ

- | | | |
|---|-----------|---------|
| 朝 | たのしキャンプの朝 | 小鳥はさえずり |
| | 谷川の水歌い | 朝日はほえむ |
| 夜 | たのしキャンプの夜 | そよ風さわやか |
| | 谷川の水歌い | 月はほえむ |

はにゅうの宿

はにゅうのやどもわがやど

はにゅうのやどもわがやど

1. 墳生の宿も わが宿 玉のよそい うらやまじ
のどかなりや 春の空 花はあるじ 鳥は友
おおわが宿よ たのしとも たのもしや
2. 文読む窓も わが窓 瑞穂の床も うらやまじ
きよらなりや 秋の夜半 月はあるじ 虫は友
おおわが窓よ たのしとも たのもしや

荒城の月

土井晚翠 作詞
滝廉太郎 作曲

はるこうろうのはなえん

はるこうろうのはなえん

1. 春高桜の花の宴 めぐる盃 かけさして
千代の松が枝 わけいでし むかしの光 いまいづこ
2. 秋陳宮の霜の色 鳴きゆく雁の數見せて
植うるつるぎに 照りそいし むかしの光 いまいづこ
3. 今荒城のよはの月 かわらぬ光 たがためぞ
垣にのこるは ただかつら 松に歌うは ただあらし
4. 天上影は かわらねど 栄枯は移る 世の姿
写さんとてか 今もなお 鳴呼荒城のよはの月

椰子の実

島崎藤村 作詞
大中寅二 作曲

なもしらぬ とおきしまより ながれよるやしのみひとつ

1. 名も知らぬ 遠き島より 流れ寄る 椰子の実一つ
故郷の 岸を離れて 汝はそもそも 波に幾月
2. 旧の木は 生いや茂れる 枝はなを 影をやなせる
われもまた 潟を枕 孤身の 浮寝の旅ぞ
3. 実をとりて 胸にあつれば 新なり 流離のうれい
海の陽の 沈むを見れば 激り落つ 異郷の涙
思いやる 八重の潮々 いつづけの日にか 国に帰らん

赤とんぼ

三木露風 作詞
山田耕筰 作曲

ゆうやけこやけの あかとんぼ
おわれてみたのーはー いつのーひーか

2. 山の畠の 桑の実を 小籠につんだは まほろしか
3. 十五で娘やは 嫁にゆき お里のたよりも たえはてた
4. 夕やけ小やけの 赤とんぼ とまっているよ 竿の先

朝だ元気で

Moderato animato

八十島稔 作詞
飯田信夫 作曲

あさだ あさだ よーあさ ひがのぼー
るーそら にまっかな ひがのぼるみ
ん なげんき で げんき でおき ようーあ

さはここ もからりとはれで
あなたもわたしも きみらもぼくも
ひとりのこらす おきよあさだー

朝

Moderato animato

島崎藤村 作詞
小田進吾 作曲

1. あさはふたたび ここにあーり
2. もる羽うちふる くだーかけは

あさはわれらととーもにあーり
のんどのふえをー吹ーきならーし

うもれよねむり ゆーけよゆーめ
今日のいのちの たーたか いーの

かくれよさーらーばーさーよあらーし
よそおいせーよーとーさーけーぶかな

のーにーいーで 上の一に いーぞーよ
わらーじーとくゆ えかーま もとーれ

いーねーのほはきにみのーりたり
かぜにいななくうーまもーやーれ

はらりのいわね ふみならす かくこそ
おにしかおうじの もののふ

菩提樹

シューベルト 作曲

いざみにそいてしげるばだいじゅ

1. 泉にそいて しげる菩提樹
したいゆきては うまし夢見つ
幹には彫りぬ ゆかし音葉
うれし悲しに
といしその蔭 といしその蔭

2. 今日も過りぬ 暗き小夜中
真暗に立ちて まなことずれば
枝はそよぎて 語る如し
来よ いとし友
ここに幸あり ここに幸あり

3. おもをかすめて 吹く風寒く
笠は飛べども 捨てていそぎぬ
はるかさかりて たたずまえば
なおも聞ゆる
ここに幸あり ここに幸あり

箱根の山

行進曲風に

鳥居 忠 作詞
鳥流 廉太郎 作曲

はこねのやまはてんかのけん かんこくかも
ものならず 万丈のやま 千じんのたに
まえにそびえしりえにさそうくもはやまをめぐり
きりはたにをとぎすひるなをくらき
すぎのなみき ようちうのしょうけいは
こけなめらか 一夫関にあたるや
ばんふもひらくなし てんかにたびする
どうきのもののふだいとうこしに あしだがけ

キャンプの朝

Allegro

横山祐吉 作詞
服部逸郎 作曲

あさだよあけーだたにがわの
一せせらき からだきよめーて
ひがーしきをーあおげば はるー
かなーやまのはにーさしそめる
ーひかーり あさぎりはーはれー
ゆくーキャンープのーよろこび

- 朝だ夜明けだ谷川のせせらぎ からだきよめて東をあおげば
はるかな山の端にさしそめる光・あさぎりははれゆくキャンプのよろこび
- 朝だ夜明けだ小鳥のさえずり 耳をかたむけきほれていれば
白樺の高い梢をとびゆくつばさ あさぎりははれゆくキャンプのよろこび
- 朝だ夜明けだ炊事のけむり 目にしむなみだもたのしいひととき
唇にのぼる歌も明かるいメロディーあさぎりははれゆくキャンプのよろこび

峠の我が家

作詞者不詳
アメリカ民謡

Moderato et doux

1. そらはあおくみどりののべなつ
かしのわがまどーかなしみ
もうれいもなきほほえみのわがい
えーーおおあるさとーみみ
になれしことばーむれあそぶひつ
じのむれはれわたるこのそらー

2. 花の薫り 流れにのり 羽白き水鳥

夢のごとき静かにまた さわやけく真白に

3. 空は澄みて きやかに吹く そよかぜかぐわし
なつかしき 峠の家 またとなき故郷

* 若き集い

Moderato animato

ローバームートの歌
古田誠一郎 作詞
編曲

1.そびえるみやまにゆきかがやくよ一つむ
2.そばたついわねにくもうずまくよたき
（
じかぜすさまじくたけりてうたうブンブン
のおとどろきていのちをうたうブンブン
ハイオ いまぞわれらホイみずにねり やまにきたう
ハイオ おおたのしやホイわかきこのつどい -

1.そびえるみ山に雪輝くよ
つむじ風すさまじくたけりて歌う
ブン ブン ブン
ハイオ いまぞわれら ホイ
水に練り 山に鏡う
ハイオ おおたのしや ホイ 若きこの集い
2.そばたついわねに雲うずまくよ
滝の音轟きていのちを歌う
ブン ブン ブン

山の端に月昇る頃

(When the Moon Comes over the Mountain)

アメリカ民謡
作詞者不詳

Andante semple legato assai

やまにつきのぼれば ー たのしあの
おもいでーきみとともにか
たりーともにあゆみしみちー
ーいまなおおなじーたそ
かれはすぎてー やまにつきのぼ
ればーさりしひをしのばんー

わが山の家

(My Mountain Home)

作詞者不詳
ドイツ民謡

Moderato

なつにはやまへいこう や
まこそわがいえ あおいとりが
なきあかつきしらすよ お
はなばたけにはのばらがさいて
るむねのおもいうたえば
こだまがかえす うるわしたのし
やまこそあここがれのわがいえ

* 岩をぶっちわり

Animato levezza

中野忠八 作詞

いわをぶっちわり ぶっちわり ぶっちわり
みをぶっちわり ぶっちわり ぶっちわり
にをぶっこえて ぶっこえて ぶっこえて
みちをぶっぴらけ ぶっぴらけ や
みをぶっこえて ぶっこえて や
しをぶっかけて ぶっかけて や
ぶっちわり ぶっぴらけ ぶっちわり ぶっぴらけ
ぶっちわり ぶっこえて ぶっちわり ぶっこえて
ぶっこえて ぶっかけて ぶっこえて ぶっかけて
われらのちから しめせ や
われらのいきを しみせ や
われらのつとめ つくせ や

1. 岩をぶっちわり ぶっちわり ぶっちわり
道をぶっぴらけ ぶっぴらけ ぶっぴらけや
ぶっちわりぶっぴらけ ぶっちわりぶっぴらけ
われらの力 示せや
2. 波をぶっちわり ぶっちわり ぶっちわり
海をぶっこえて ぶっこえてや
ぶっちわりぶっこえて ぶっちわりぶっこえて
われらの意気を 見せよや
3. 谷をぶっこえて ぶっこえて ぶっこえて
橋をぶっかけて ぶっかけてや
ぶっこえてぶっかけて ぶっこえてぶっかけて
われらの務 つくせや

Zun Gali Gali

Moderato con spirito

パレスチイン民謡

1. He-cha-lutz le 'man a - vo - doh;
2. A - vo - dah le 'man he - che - lutz;
3. He - sha - lom le 'man ha - a - min;

Zum ga - li ga - li ga - li, Zum ga - li ga - li,

A - vo - dah le 'man he - cha - lutz
He - cha - lutz le 'man a - vo - dah
Ha - a - min le 'man ha - sha - lom

Zum ga - li ga - li ga - li Zum ga - li ga - li

(註)

1, 2 節

開拓者の目的は働くこと 労働こそあなたの仕事です

4 節

全ての国民に平和あれ 全ての国民は平和に

* 谷間のキャンプ[°]

(The Little Brown Church in the Vale)

尾崎忠次 詞曲
William S. Pitts 作曲

Moderato giojante

1. もりのふかくたにあいす
2. からがやかしいあさだよた
ばらしいキャンブ こんなよいとこら
からなつのぶえ そのひびきはき
はないたにまのしろいキャンブ } Camp
はないかにばくらのここるさそ う
キャンブにゆこうよた
camp
にまのキャンブに
Camp camp camp Camp camp camp こんなよいとこら
はないたにまのしろいキャンブ

村の道ぶしん

葛原しげる 作詞
梁田 貞 作曲

Moderato

1.みぞをさらいくさをかりて} わ
2.つちをはこびすなをもりて} わ
3.ちからあわせこころあわせ

れらははげむわれらのむらの

みちぶしん { むらのためにく
むらのためにく
わかれらにつくすう

にのためにつくしたるわわれらの
にのためにつくとめなんわわれらの
しとうまとたびびとゆくてに

としょりの} あゆみやすかれとあ
おきなごの} あゆみやすかれと
こころせく

さなゆうなわわれらははげむわ
れらのむらのみちぶしん エンヤラ

クカブーラ

(Kookaburra)

YWCA 歌集より
オーストラリア民謡

Allegretto vivace

1.クカブーラわらいかわせみ
2.クカブーラわらいかわせみ

ゴムのもりの王一さま
ゴムのみが一だいすまき

ワー ハッハッハッハ ワー ハッハッハッハ
あー チュインガム あー チュインガム

ゆかいだいな
おいしいな

アチャ パチャ ノーチャ
(Aacha Paacha Noocha)

Levezza ラップランド民謡

1 アチャバチャノーチャ アチャバチャノーチャ エ ヴェスサデ ヴェスサ

2 ドラマサデー セダヴェラケイセア ヴァー チャ

3 セタヴェラケイセア ヴァー チャ アチャバチャノーチャ

アチャバチャノーチャ エ ヴェスサデーヴェスサ ドラマサデー

(註) これは北欧ラップランド漁師の漁の有様の仕草を入れた歌で、動作は1と3の節はボードを漕ぐ動作
2の動作はつり竿についているリールの巻き糸を遠くに投げる
2番目の1と3は前と同じ、2の動作は魚の頭を包丁でポンと切り落し肩のうしろへなげる
3番目も1と3は前番と同じ。2の動作はぬれたあみをたぐりよせ重そうに片づける動作をつける。



1. 溝をさいら草を刈りて 我等は効む我等の村の道ぶしん
村の為に國の為に尽したる 我等の年寄りの歩み安かれと
朝な夕な我等は効む 我等の村の道ぶしん
エンヤラホーア ヤレホイ ホイホーア ヤレホイ
エンヤラホーア ヤレホイ ホイホーア ヤレホイ-

2. 土を運び砂を盛りて 我等は効む我等の村の道ぶしん
村の為に國の為に務めなん 我等の幼子の歩み安かれと
朝な夕な我等は効む 我等の村の道ぶしん
エンヤラホーア ヤレホイ ホイホーア ヤレホイ
エンヤラホーア ヤレホイ ホイホーア ヤレホイ-

3. 力合せ心合せ 我等は効む我等の村の道ぶしん
我等に尽牛馬と旅人の ゆくてにこころせく歩み安かれと
朝な夕な我等は効む 我等の村の道ぶしん
エンヤラホーア ヤレホイ ホイホーア ヤレホイ
エンヤラホーア ヤレホイ ホイホーア ヤレホイ-

* ヒラミル バニア

印度人からならった歌
久留島秀三郎 探譜

Allegretto

ヒラミルバニア ジョリナナディーア ヒラミルバニア
ジョリナナディーア ジョリナナディーア ジョリナナディーア
ヒラミルバニア ジョリナナディーア アングラナ チェバングラナチ
ナ チエブテルカーナ ウベルシトメンブカリ ラウババルチカーナ

(註) 明治41年(1908年)9月印度マイソールの王様が日本に来られた。その時従者2人が遊びに来てうたった歌、その意味が何か、わからぬままに42年が過ぎた。偶々昭和25年(1950年)印度の大鉄山を訪ねた時、夕飯後の一時、それを思い出して歌った。そしてその歌の意味が長い乾期のあと万物が枯れそうになった時慈雨が降り出した。その喜びをうたうものであった。この歌を習ったのは故中野忠八、画家松宮左京、久留島秀三郎、故松井治助の4人だった。(久留島秀三郎記)

ヒラミルバニア	雨が降って來た
ジョリナナディーア	忽ち川となつて流れる
(くり返し)	
アングラナチエ	イギリス人も踊る
バングラナチエ	ベンガル人も踊る
ナチエブテルカーナ	踊れよ 瓶には酒が
ウーベルシートメンブカリ	机の上には黒い長い容器物に御馳走が
バニは水 カーナは食物 ナチエは踊の意味	

★ カマテ カマテ
(マオリパーカーマオリの踊り) 久留島秀三郎 訳詞
尾崎忠次 採譜

Presto molto vivace

(註) 一種の掛け声的唱法で歌うので、メロディーとして採譜しにくいため抑揚は線で表わしました。従って変ロ調にしたのは5線の中央に音をもって来たというだけのこと別に調子に拘泥しなくともよろしいでしょう。

各小節は、それぞれ異った拍子で実に自由奔放な頗る元気な歌い方で仕草も誠に元気な勇壮なものです。

★ 裾野を越えて
(Over the Meadow)

尾崎忠次 作詞
チェコ 民謡

Allegro vivace

1. 緑濃い裾野 阳の光に花は咲いて
緑濃い裾野 ああ僕等は歩く

(繰り返し) 谷に溶けた峰の雪はうたいながら流れて行く
谷に溶けた雪の峰はうたいながら流れる

2. 爽やかな朝も 紫におう黄昏時も
皆むつまじく ああ僕等は歩く

* ハイキング

Allegretto animato

尾崎忠次 訳詞
米ボーイスカウト曲集より



おかこえやまこえみどりのこみち
いつでもどこでもみんなはがらかに



ばくらボーイスカウトのハイキン グだ —



けわしきやまさか



もはるかなおかのえも



—ばくらをよんでい



るゆこうボーイスカウトのハイキン グだ

* Holdria Kuck

スエーデン民謡
志水功編曲
飯田貞雄

Giojante



Tra-la - la - la - la - la, Tra-la - la - la - la - la, Tra-la -



la - la - la - la - la Tra-la - la - la - la - la



Tri - i - a hol - dia tri - i - a hol - dia ku - ck



hol - dia tri - i - a hol - dia ku - ck hol - dia tri - i - a



hol - dia ku - ck hol - dia tri - i - a ho!

これはスウェーデンの少年たちが寒い日に半ズボンをめくりあげひざこぞを
だしで動作をつけて暖かくなるまで歌います。

身ぶり：

1. (1~8小節) 足を少しひらいてひざを曲げ、手をにぎって両手を左右にリズムに合わせてふる。(スキーやしているかたち)

2. (9小節) 手のひじを下に向け、両手を前に静かにさし出す。次に体を起こして立ち両手を口もとにあって行き、かじかんだ手に「ハー」「ハー」といいながら息をかける(これは9小節を歌い終わった後にする動作)

3. (10小節) かがみながら両手でひざこぞうを左右交互に早くたたく。

4. (11~17小節) holで両手をそろえてyakukihikoをなたきdiaで両手をたたきtri-iaで手をおやゆびだけのこにしてぎりかたの上の方にはずませる。

5. (18小節) 手のひらを下に向け両手を前にだして終る(2の前半の動作と同じ)なお、二回目には“kuck”を二回うたい、回数を重ねるに従い“kuck”的数が多くなり、身ぶりもくりかえしてうたう。

シン ポン ポン
(Sim Bom Bom)

中華民國（台灣）B.S.譜

Allegretto vivace



シンボンボン トラララ リカリカラッパッパ



シンポンポン トラララ リカリカラッパッペ



We're living in 富士シンボントラララ



We're living in 山中 the Boy Scout of 日本 村



ホヘシンボンボントラララリカリカリラッパッパ

★ 楽しいぼくらのハイキング
(I'm Happy When I'm Hiking)

尾崎忠次訳詞 英國ハイキング曲

Allegretto animato



ト ラ ブ ト ラ ブ ト ラ ブ ト ラ ブ ト ラ ブ ト ラ ブ ト ラ ブ ト ラ ブ た の し い ば く ら の



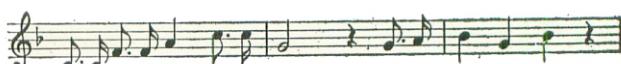
ハイ キング リュック、サックせおいな か ら



の　おま　をこうて　かい　киング　なかよくともどとも



に り き う の は て ま で



おのし くまに すま ね そこ は るカウトの



アーティスト名： 10-3-03-04-050 お口座 エドワード・ラム



* 雄々しく歩まん

(Tannen Baum)

古田誠一郎 作詞
ドイツ民謡

Allegro

1. むらさめすぎゆきにじのかけはし
2. おぐらきしじまのもりのしとかげ
3. はずえにきらめくたまのあさつゆ

そひゆるたかねは
あやしきひかりは
みどりにはゆるひ

あしなみそろえて
たかいにいましめ
ゆくてははるけし

Sarasponda

Moderato giojante

オランダつむぎ歌

Sa - ras - pon - da, Sa - ras - pon - da, Sa - ras -
サラス ポンダ サラス ポンダ サラス

Boon da Boom da
ボンダ ボンダ

pon - da Ret - set - set, Sa - ras - pon - da, Sa - ras - pon - da, Sa - ras -
ポンダ レッセツセ サラス ポンダ サラス ポンダ サラス

Boom da
ボンダ ボンダ

pon - da, Ret - set - set, Ah - do - ray - oh! Ah -
ポンダ レッセツセ オド ラオ オ

Boom da Boom da Boom da Boom da
ボンダ ボンダ ボンダ

do-ray boomda oh! Ah - do-rayboomda retset set! Au-say-pousay oh!
ドラ ボンダオ オ ドラ ボンダ レッセツセ オセボセオ

ニコニコの歌

お一き ろおきろとつぶえがなる
ねーむいまなこをむーりにあーけて
おはようおはようとあいさつする
きーみもほーくもニコニコ

2. 目ばかりあいて 心が寝て
あっちへふらふら こっちへふらふら
足場がきまらぬ ままならぬ
君も僕も ニコニコ
- 3 おなかがすいた はらべこだ
折しも食事の 合図が鳴るよ
ごはんもおいし おかずもおいし
君も僕も ニコニコ
- 4 草木もねむる 真夜中に
毛布をはいだり 足を出したり
むにやむにやねごとを いいながら
君も僕も ニコニコ

だいちをふみしめ
こころをつよめて
おおしくあゆまん
うたごえあわせて

* 春の陽はうらら

尾崎忠次 作詞
スイス 民謡

Allegretto

1. うららにーてるひ
2. たのしくーうたおう
あしもがるやかに
やまひこもうたう
ホルディリディア
ホルディア
ホルディー リーディア
ホルディリディア
ホルディア
ホルディリディア
ホルディア

1. うららに照る日 ホルディリディア ホルディア
足も軽やかに ホルディリディア ホルディア
(繰り返し) ホルディリディア ホルディリディア ホルディア
ホルディリディア ホルディリディア ホルディア
2. たのしく歌おう ホルディリディア ホルディア
山彦も歌う ホルディリディア ホルディア

*こだま

Allegretto

中村 知作詞
米ボイスカウト曲集より

1. たかい やまなーみ みねをつらね みそらにたち
2. ふかい たにだーに そこもみえぬ くろみしもり

ふかい たにだーに そのそこのすーごーさよ
たかい やまなーみ そのたかさくーもにいる

オウ オウ ャッポ ャッポ たににこだまひひくよ
やまにこだまひひくよ

*うたえ歌を

ドイツ民謡
尾崎忠次作詞
編曲

うたえうたをはがーーらーかに
あるけみちをかろやーかに Fine
あおぞらのよーなすみわたるこころで
われらのゆくてをめざーしすーすまん D.C.

リュックサックの歌

Andantino umore

古田誠一郎作詞
編曲

1. ぼくらがーてせいのすばらしこい
5. あせびっしょりーしゃってきてばかりし
リュックサックそれでもーはいりきらぬ
わっはっはははははんぶんもーつかわぬ

1.2.3.4. 5.
ものすごいこのにもつ
なんてものすごいこのにもつ

2. 天幕は でっかいし 毛布は グラウンドシーツ
着替えも 4・5枚 冬の外とう レインコート

3. まだある まだある 布バケツ やかん コップフェル
飯むし なべかま 王子入れ メタアルコール

4. まだある うんとある 木づちおの なたナイフかんきり
金づち のこぎり 重いけれども 針金

Musical score for the first part of the song. The key signature is B-flat major (two flats). The vocal line consists of eighth-note patterns. The lyrics are:

つんぼはなおすよ ヴェレヴェレヴィンケンブン
 なんでもなおすよ ヴェレヴェレヴィンケンブン
 ばか一にはつけるくすりはないよ

Musical score for the second part of the song. The key signature changes to G major (one sharp). The vocal line consists of eighth-note patterns. The lyrics are:

トアララララララ ヴェレヴェレヴィンケンブンブン

Musical score for the third part of the song. The key signature changes to G major (one sharp). The vocal line consists of eighth-note patterns. The lyrics are:

トアララララララ ヴェレヴェレヴィンケンブン

* 森の仲間

Levezza

Musical score for the instrumental introduction 'Levezza'. The key signature is G major (one sharp). The tempo is indicated by 'f' (fortissimo). The lyrics are:

(前奏は口笛で)

古田誠一郎 作詞
山口季次郎 作曲

Musical score for the first verse of the song. The key signature is G major (one sharp). The tempo is indicated by 'mf' (mezzo-forte). The lyrics are:

1. きけよきけまねくやまのさけひ
 2. みよやみよそらをほしかかやく
 3. たてよたていまぞしゃかいのため

Musical score for the second verse of the song. The key signature is G major (one sharp). The tempo is indicated by 'mf' (mezzo-forte). The lyrics are:

いこうよスカウトもりのなかまと
 キわめよスカウトわかきかく
 やろうよスカウトあいのともだ

Musical score for the third verse of the song. The key signature is G major (one sharp). The tempo is indicated by 'f' (fortissimo). The lyrics are:

つかれもみせずエイエイげんきにあふれ

Musical score for the fourth verse of the song. The key signature is G major (one sharp). The tempo is indicated by 'f' (fortissimo). The lyrics are:

へいわなしんせかいをうちたてん

* わが旗かざし
(Hiking to Victory)

飯田貞雄 訳詞
米ボイスカウト歌集より

Giojante

いざ ゆかん スカウト
-Come Scouts for we're off to day

はるかとおくたゆまづ わがはた
Hik-ing to hill-tops far far a-way, with our col-ors

かざしめざすおかにすすまん
fly-ing high, We'll reach the sum-mit bye and bye,

ゆくてけわしくともほがらかに
What though the trail be hard and long, You'll al-ways hear us

うたいてまことのしるべを
sing ing our song, Ev-er lo-yal to old Scout-ing

つよくあゆまん ラララ まんララ
Hi-k-ing to Vic-to-ry la la la - ry la la

お医者さん

岡本敏明 作詞
ドイツ民謡

Moderato umore

1.~3. おおわたりはいしゃよ ヴェレヴェレヴァインケンブシブンブン

おおわたりはいしゃよ ヴェレヴェレヴァインケンブシブンブン

めくらはめあきに
せんそくもリュマチも
けれどもこまつた ヴェレヴェレヴァインケンブシブンブン

こ ろ の と も 一 の つ ど い き ト
を と り む す 一 ぶ し カ ウ き つ
ぜ ん の わ ざ 一 を み が く

て こ よ い ひ 一 を た 一 け
の ち か い は 一 か 一 た 一 し } に っ
つ へ い わ べ 一 つ な 一 く

ほ ん ジ ャン ポ リ リ

Ten Miles From Camp

(キャンプまであと10マイル)

Allegro moderato (♩ = 100)

ハイキングソング

1. We're ten miles from camp, We're ten miles from camp; We
2. We're nine miles from camp, We're nine miles from camp; We
3. We're eight miles from camp, We're eight miles from camp; We

walk a mile, we rest a while, We're nine miles from camp.
walk a mile, we rest a while, We're eight miles from camp.
walk a mile, we rest a while, We're seven miles from camp.
And now we're at camp.

美しい湖水

Andantino cantabile

作詞者不詳
おきはるを 編曲

うつくし こす いよ みどりな す こだち

よ あたらしい かんげきに いつもみちた キャンプ

よ わ か た れしー 友 - 情 の 火 は い

ま も な お か が や け り なつか

し い と も だ ち ょ こ え な か く ひ び か せ た の 一

しい せいかつを かずかず うたおう 一 よ 一

A musical score for 'Kōzue no Hana' featuring five staves of music with Japanese lyrics. The lyrics are as follows:

うつくし こすい よみどりなす こだち
よあたらしい かんげきに いつも みちた キャンプ
よわかたれし 友情の火はい
まもなおかが一やけり なつか
しいともだちよ こえたかく ひびかせたの一
しいせいかつを かずかず うたおう 一よ

リ ジャンボリ ト ラ タ タ タ {そ ら は あ お い ゼ
 ヨ や ま は た か い ゼ
 ホーイ ホイ ホイ {そ ら は あ お い ゼ} ホーイ ホイ ホイ {ほー
 ヨ や ま は た か い ゼ} ホーイ ホイ ホイ {ほー
 くらはきょうだいだ つなげてとてを} ジャンボリー
 くらはわかいのだ ときえをそろえて}

★ 日本ジャンボリーの歌

(第2回日本ジャンボリー1959年)

Moderato

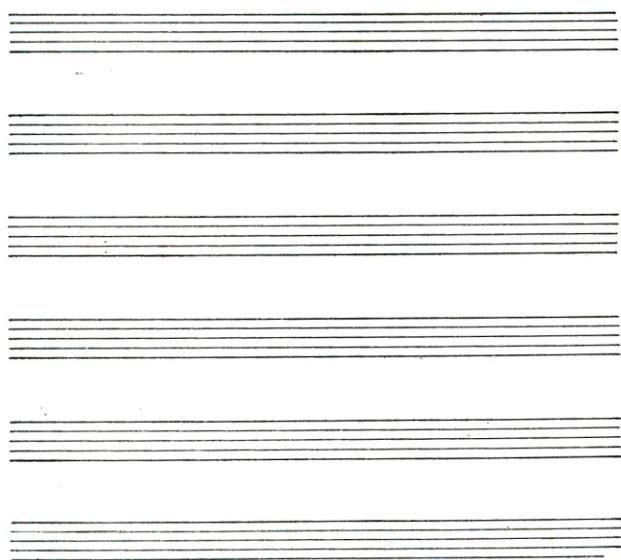
吉川哲雄 作詞
奥村一 作曲

はるの山たのし

山本学治 作詞
大塚敬子 作曲
編曲

Andantino gragioso

は る の や ま た の シ た に ま 一 の
 お が わ に み ど り ぐ 一 さ う つ り て
 わ か め か お ー る も ー り よ ト ラ ラ ラ ト ラ ラ ラ
 ト ラ ラ ラ (ラ ラ) ト ラ ラ ト レ リ オ ト ラ ラ ラ ト ラ ラ
 ト ラ ラ ラ ラ ラ ラ ト ラ ラ (ラ ラ) ト ラ ラ ラ ラ



Sout - ing — We shall stand, for ev - er - stand!

★ ジャンボリーの歌

(第1回日本ジャンボリー1956年) 野上 彰 作詞
Andantino 宅 孝二 作曲

1.そらはあおいぞ { ホイホイホイ { そらはあおいぞ
2.やまはたかいぞ { やまはたかいぞ {
ホイホイホイ { ほくらはきょうだいた つなげてとてを
ほくらはわかいのだ とえをそろえて
せかいはひとつだ { ジャンボリー ジャンボリジャンボリ
うたえばこだまも { ジャンボリジャンボリ ジャンボリ { ぼー
ジャジャジャンボリ ジャンボリジャンボリ ジャジャジャンボリ { ぼー
くらはきょうだいだ つなげてとてを { ジャンボリー
くらはわかいのだ とえをそろえて {
ジャンボリ ジャンボリ トランタタタ ジャンボ

* Jamboree

(第10回世界ジャンボリー1959年)

Con spirito

Solo

From eve - ry clime and re - gion, We crossed mount vale and sea We're
in the Phil - ip - pines now For our World Jam - bo - ree. Here
East and West are meet - ing As Heav-en so de - crees: We
live and work and play In true fel-low-ship and peace. "Ma -
Unis.
bu - hay" to all! —— Scouts who are
here —— let the mes - sage of B . P —
Now re - sound loud, long, and clear. —— I am your
broth - er and friend, —— So
take my hand, —— For God and coun - try, man-kind and

* ゆうべのうた

(Abend Wird es Wieder) Ch.R.リンク 作曲

尾崎忠次 編曲

訳詞

Lento morendo

あかねそらに ゆうばえて
ましづかなる もりのなか

1. あかね空に 夕ばえて
ま静かなる 森のなか

2. 聖なる夕 おとづれて
我が心は 静まりぬ

3. 星は空に ささやきて
なが心に 幸あれと

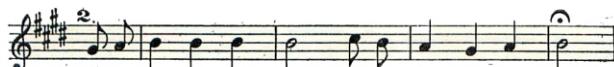
* かがり火

(輪唱)

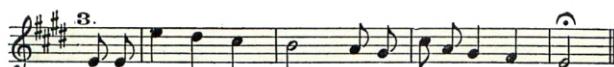
尾崎忠次 作詞
ドイツ歌集より



よるのとばり ふかくおりて



こずえにかかるほしきげに



かがりひをかこむたのしさよ

Musical score for the first verse of "March on the road with me". The score consists of two staves: treble and bass. The lyrics are:

March March March on the road with me

Musical score for the second verse of "March on the road with me". The score consists of two staves: treble and bass. The lyrics are:

To the Boy scout Jam - bor - ee

Musical score for the third verse of "March on the road with me". The score consists of two staves: treble and bass. The lyrics are:

Join the throng and swing a - long

Musical score for the fourth verse of "March on the road with me". The score consists of two staves: treble and bass. The lyrics are:

as we sing our song — Jam - bor -

森の火 (Oh, Geneviere)

塙野幸子作詞
Y.W.C.A歌集より

Larghetto espressivo

Musical score for "森の火" (Oh, Geneviere) in Larghetto espressivo style. The score consists of two staves: treble and bass. The lyrics are:

1. ゆうべとなりぬ風は静かに木の間ゆきかい水はささやく
もえよもえよあか一きほの——お
2. よはちかづきぬほしきはしずかに
もえよもえよあか一きほの——お

この一まゆきかいみづ一はささやく
われ一らのこころすべてきよめで
そら一にまたたき地を一ぱまもれば
われ一らのこころすべてきよめて

Fine

ゆうかげくらしいざなにすわり
われらやすけしもりのかげふかく
DS.al.Fine

もりの火をたかんかぐわしき火一をおー
へいわのほの一おわれらをてらすおー

- 夕べとなりぬ風は静かに 木の間ゆきかい水はささやく
夕かげくらじいざなにすわり 森の火をたかんかぐわしき火を
おお燃えよ燃えよ 赤き焰われらの心すべて清めて
- 夜は近づきぬ星は静かに 空にまたたき地をば守れば
われら安けし森のかけ深く 平和の焰われらを照らす
おお燃えよ燃えよ 赤き焰われらの心すべて清めて

冬の星座

Andante cantabile

堀内敬三 作詞
ヘイス 作曲

mp flabile

1. かぜおちつきなくさゆるそらより
2. むきゅうのときをばほくとはさして
ちじょうにふりしくくしきひかりよー
むげんのうちゅうにぎんがはよこたうー
ものみなねむれるしじまのなかに
おどれるオリオンむれすむスバル
かぞえもつくせぬせいぎはめぐる
きらめきゆれつつせいぎはめぐる

1. 風落ち月無く渦ゆる空より
地上に降りしく奇しき光よ
万象ねむれる沈黙の中に
数えもつくせぬ星座はめぐる

2 無窮の時をば 北斗はさきて
無限の宇宙に銀河は横たう
躍れるオリオン群れ住むスバル
輝めきゆれつつ 星座はめぐる

ag·ara's might·y Gorge with the songs of brave St. Gorge new ho.
ばはちがうともこころはひとつプラ
riz·ons are call·ing you (Ta-Ta-Ta-Ta) Hi!
ザスカウトイやさか

(註) 歌詞はカナダのスカウトが外国のスカウトを歓迎する歌で我々が
歌うにはピンとこないので邦語歌をつけてみた。(久留島秀三郎訳)

1. オーイ 来たよ、プラザースカウト
やあい やあい 我等の友
西と東と 北と南 肩をくみ 腕をくみ
歌をうたって行こうよ 我等の世界は一つ
言葉は違うとも 心は一つ
プラザースカウト 弥栄
2. ナイヤガラ オンザレーキ
ここにひるがえる旗
42の旗の中に 日の丸の旗 はためくよ
世界のスカウト我等ここに会い また別れるとも
むすばれし心 こしえに
プラザースカウト 弥栄

* Jamboree Song

(ジュビリージャンボリー1957年)
(第9回世界ジャンボリー)

Allegretto levezza

R. Reaber 作詞
作曲

* New Horizons

(第8回世界ジャンボリー 1955年)

Moderato marcato

R.Fleming 編曲
Former Saskatoon Scout

march tempo

Wel-come broth-er scouts of all the world (zoom zoom zoom) The
お い き た よ ー ブ ラ ザ スカウト や

flags of all the na-tions are un-furled —
あ い ゃ い わ れ ら の と も —

At the Jam-bor-ee There'll be fun for you and me —
に し と ひ が し と き た と み な み

Well make new friend-ships true (zoom zoom zoom)
か た を く み う で を く み —

Gath-ered here from na-tions far and wide (zoom zoom zoom)
う た を う た つ ゆ こ う よ —

A brotherhood that fills our hearts with pride (zoom zoom) At Ni
わ れ ら の せ か い は ひ と つ — こ と

* 友を想う

三島昌子 作詞
尾崎忠次 作曲

Andante espressivo

か が り び た え て チ ロ ロ ロ ロ
a tempo

か ほ そ き ひ 一 を み つ 一 め

う 一 み に や ま に は た ま ち に
rit.

お な じ み ち ゆ く と も お も う

ほ し は ひ か る よ キ ラ ラ キ ラ ラ

あ た た か 一 き わ が お も い

ほ し の ま た た き に よ せ て お く ら ー ん
poco più lento

と も が う え に も さ ち あ れ と

*まどい

Andante con grazioso

溪間秀典作詞
ベートーベン作曲

1.そらはしづみぬひはおりぬ
2.ともよあいよりひをたかん

ゆばえちへいをつつみたり
こころなごみんいざやいぎ

1.空は沈みぬ日はおりぬ

夕映え地平をつつみたり

2.友よあいより火をたかん

心なごみんいざやいき

* Jamboreelied

(第7回世界ジャンボリー1951年)

Allegretto animato

Text und Melodie AXI

Bru | der auf und hört die Me - lo - die, Öst reih.

ruft die Welt zum sich'nten Jambo - ree. Mag's auch wet-ter leuchten rings um ..

her, freut euch mit uns, nehm't es nicht zu schwer. Es klin - gen Lie - der, —
und heu - te wie - der, —

— sie klin - gen weit in al - le Welt. Sie ru - fen
— liegt al - les Glück in un - serm Zeit und u - ber

je - den dem's ge - fällt, — zum Jam bo - ree
uns die Wa - che hält — der Chief Bi Pil

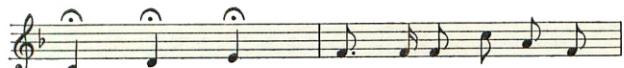
* Jamboreeruf

(第7回 世界 ジャンボリー 1951年)

Levezza



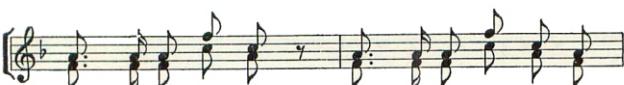
J . A . M . B . O . R . EE Jam - bo - ree !



Jam - bo - ree , Jam - bo - ree von Ost und



Jam - bo - ree von West Jam - bo - ree ist uns das



al - ler - schön - ste Fest Jam - bo - ree von Süd und



Jam - bo - ree von Nord , Jam - bo - reekling fort und fort !

* 別れの營火

(Loch Lomond)

Andantino

スコットランド民謡
中村 知
作詞
編曲



1. よ ご と に た き し か が り び こ よ

2. い く よ を こ こ に や ど り て こ よ



い さ い ご の え い か と も よ こ の
い わ か れ の え い か と も よ こ の



せい やー を い ざ た の 一 し く う だ わ ん } お ~
ひと よー を い ざ た の 一 し く か た ら ん }



も や セ も や セ か が り び こ こ



ろ 一 ゆ く ば 一 か り な ご り の え



い 一 か 一 ゾ お も い で 一 の え い 一 か ゾ

* 名残りの營火

Andante cantabile

鈴木栄次郎 作詞

なごりのかがりびはわれ
らのともがきをとわにむ
すびてここらあたた
むなれどまたあうひまで
うみやまへだつともとも
にはげまんスカウトのみち

をばあわせてともにすすまんせかいのけん
じはひとつのこところことばかわれどくに
はちかえどここらはつねにへだてず

* Jamboree

(第6回 世界ジャンボリー 1947年)

Allegro leuezza

Jan. Schaap 作詞
作曲

Jam-bo-ree, — Jam-bo-ree, — J A
M B O R E E Jam-bo-ree, ree ree Jam-bo-
ree — Jam-bo-ree — We are the Scouts of
Chief B. P. — A. Jam-bo P. —

めせ元氣 ふるいたちてし めせ元氣
〔間奏〕

〔歌〕
ふけよやかぜ たてよやな
みみくにをはなれてわれらはゆく
つろせんりはとうばんりしおぎていざ
〔間奏〕
ジャンボリにゆかんわれら
〔歌〕
こえ

★ キャンプ ファイア

野上 彰 作詞
高田三郎 作曲

Allegro vivace

1. もえろもえーろ どんどともーえー
2. もえろもえーろ かっかともーえー
3. もえろもえーろ ばちばちもーえー

ろ こ ころとこーこ ろわ
ろ せ かいとせーか いわ
ろ き ぼうときーほ うわ

かーいこ ころの ひのよう に
かーいせ かいの いつまでも } キャンプ ラララ
かーいき ぼうの そらたかく

キャンプ リリリ ララララリリリ キャンプ ファイアー

* おやすみなさい
(Early to Bed)

Allegretto
1 dolce

(輪唱)

尾崎忠次 作詞
作曲者不詳

たのし 営 火 おわりぬ
あすのハイクたのしみ
お や す み な さい

たのし営火終りぬ

明日のハイクたのしみ

おやすみなさい

をばあわせてともにすすまんせかいのけん
じはひとつのことろことばはかわれどくに
はちがえどことろはつねにへだてず
〔間奏〕
われらはみ
とよやけん
なよきともがきたがいにはげみ
じいざあゆまんもりこえやまと
てやまづひろきせかいをいえとして
えゆかんよるともなればかがりびを
いかなることもたえしのびかんなんし
めぐりてともにまどいせんけんじのづ
んくはつもりきても} ふるいたちてし
どいはつねにたのし

★ 世界の健児

(第3回 世界ジャンボリー 1929年) ポイザー 作詞
堀内敬三 作曲

[スカウトのラップ]

歌 (歌)

こえをはあわせてともにすすまんせか
いのけんじはひとつのことばはかわれどくに
はちがえどことろはつねにへだてずいす
こにあうともわれらはともよれいぎをわすれずめい
わのせかいをわれらはきづきかがやくみらいのぶん
よをすてずうけたるおしえをことろにめい
かつくらんただしきもののみみかたとなし
じまじわりただしくきよしへい
てけがれしものをきよめんこえ

班会議の帰り路
(Walking at Night)

Allegro vivace

よるのかぜすーずしきまきばのみち
すーしみちー

からやかにはんかいぎのかえりみち
かえりみち

みんなでたのしくうたおうよ Hey ストドラストドラ
うたう

ストドラブンパストドラブンパストドラブンパ

1. 夜の風涼しく 牧場の路からやかに
班会議の帰り路 皆で楽しくうたおうよ ヘイ
ストドラ ストドラ ストドラ ブンバ
ストドラブンバ ストドラブンバ
ストドラ ストドラ ストドラ ブンバ
ストドラブンバ バンバンバン

2. 森近くさしかかる ふくろ鳴く夜の路
その声のなつかしく 僕等も共にうたおうよ ヘイ
(繰り返し)

3. 空にまたたく星も 真理と知識の如く
我が胸によりかける 輝やけるその光 ヘイ
(繰り返し)

(註) ヘイは、楽しい呼び声、なるべくかん高い声で。

★ ジャンボリー
(第2回 世界ジャンボリー 1924年)

Animato vivace

1. ジャンボリ ジャンボリ ジャンボリ ジャンボリ ジャンボリ ジャンボリ
 2. うたえ うたえ うたえ うたえ うたえ うたえ
 3. おどれ おどれ おどれ おどれ おどれ おどれ
 4. わらえ わらえ わらえ わらえ わらえ わらえ

リ ジャンボリア ハハハハハハジャンボ リ ジャンボリ ジャンボ
 え うたえラ ララララララ うたえ うたえうた
 れ おどれピヨンピヨンピヨンピヨンピヨンおどれ おどれおど
 え わらえア ハハハハハハ わらえ わらえわらえ

リ ジンボリ ジャンボ リ ジャンボリア ハエイ
 え うたえうたえ うたえラ
 れ おどれおどれ おどれピヨン ピヨン
 え わらえわらえ わらえア ハ

1. ジャンボリー ジャンボリー ジャンボリー
 ジャンボリー ジャンボリー ジャンボリー アハ~~~~~
 ジャンボリー ジャンボリー ジャンボリー
 ジャンボリー ジャンボリー ジャンボリー ア ハエイ

2. 歌え 歌え 歌え 歌え 歌え ララ~~~~~
 歌え 歌え 歌え 歌え 歌え ラ ラ

3. 踊れ 踊れ 踊れ 踊れ 踊れ ピヨン~~~~~
 踊れ 踊れ 踊れ 踊れ 踊れ 踊れ ピヨン ピヨン

4. 笑え 笑え 笑え 笑え 笑え 笑え アハ~~~~~
 笑え 笑え 笑え 笑え 笑え 笑え ア ハ

★ 沖縄の英靈に捧げる歌

Larghetto maestoso

第10回世界ジャンボリー
派遣スカウト合作

おきなわにその
みささげしさきもり
のかみさりまししえ
いれいよとこしえ
にやすかれとまご
ころこめてああわれら
いまひたすらいのる

★ 忘れ難き山中

Larghetto dolce

松平頼明 作詞
ドイツ 民謡

1.ともにいねしあのものもりざ
2.みかきあいしわがわわ
3.ほしはめぐりいくと
うたいあいしこのうたち
かたりあいしわがみみち
いかにいますはらから
おもいはい一まもあーらたなーり
ちかいはい一まもあーらたなーり
おもいはい一まもあーらたなーり
わすれがたきやまなか

1. 共にいねしあの森唄いあいし この歌
思いは今も 新たなり 忘れ難き 山中
2. 磨きあいし わが技語りあいし わが道
誓いは今も 新たなり 忘れ難き 山中
3. 星はめぐり 幾年 いかにいます 同胞
想いは今も 新たなり 忘れ難き 山中

* 家路として
(Going Home)

Andantino

三輪谷 記作詞
米ボイスカウト曲集より

いえじとして はずむこころ
ともにうたう Go · ing Home
ひとひおえて Boy Scout われら
くいなくみんなで げんきにうたう Go · ing Home

家路としてはずむこころ
共にうたう Going Home
一日終えて Boy Scout われら
悔いなくみんなで元気にうたう
Going Home

* さつま汁の歌

Allegretto

曲は「リゴレット」による

なべの なかに なにが あるの

指導者	鍋の中に 何があるの？
隊員合唱	鍋の中に いもがあるよ
指導者	いものほかに 何があるの？（以下回答となり、最後に）
隊員合唱	いものほかに ぶたがあるよ
全員合唱	さつま汁よ さつま汁よ さつま汁よ 待って居た

(註) 大正15年九州飯田の合同野営で流行した即興的のもので、山口季次郎（現日連先達 当時日連指導主事）の作と伝えられる。この歌のあとに「ちからかブタ公、ブタ公、ブタ公、ちからかブタ公、ブタ公のホイホイ」（朝日は昇るの曲で歌う）というハヤシをつけたものである。

* 湖畔の野営

Poco adagio (雄松岬の野営)

中野忠八作詞
オールドブラックジョー



- みどり濃き松のかげ けがれなき白き砂
底も見ゆるや鴎の湖 神の代に似し起き臥しを
いざや、いざや、いざ試みん 雄松岬の仮の宿

- 雲の峰わきたちて 高さきそや比良、伊吹
それより高き意氣をもて まがねのごとき強き身を
いざや、いざや、いざ作らなん 火にも水にも耐ゆる身を
- そよ吹く風による波の 音も静けき星の夜に
健児のまどい、今果てて つらねしテントを今日の宿
いざや、いざや、いざ眠らなん 錦にまさる草まくら

(註) この歌は大正12~13年(1923~4)頃、まだ、日本に、スカウトソングが、ひとつもなかった頃、また、スカウトキャンプが、まだ一般化しなかった頃、中野先生が雄松岬でスカウト野営を創められた頃の作で、日本スカウトソングの第1号ともいるべきもの、大正14年第1期中央実修所で歌われてから全国に普及した歴史的作品であり、日連発行「健児唱歌」第1集にのせられたものである。鳩の湖(にはのうみ)とは琵琶湖の別名である。

* 山中のお話

Allegro umore Solo

松平頬明作詞



- 山中のお話だ
サー いろんなお話だ
きかそ サテ Tiyi Youpy Youpy Yey Youpy Yey,
サテ Tiyi Youpy Youpy Yey
- 朝は竹ぼら 遠くにきこえ
空は桃色 きれいだ //
- 起きれば忙し あさげの仕度
点検しかられ 朝礼だ //
- 学科の時間は ばかりかねむくて
隊長のいうこと 何もかけぬ //
- 実科の時間は やくらをなでたり
ロープを張り ふらふらだ //
- あるときは あらしのなかで
非常呼集だ さあたいへん //
- 雨にすぶぬれ 風はヒューヒュー
どこ這行くやら まっくらだ //
- じよ夜あければ さかきの赤富士
湖水ははつきり すばらしい //

* 平和の騎士

尾崎忠次 作詞
ドイツ歌集より

Allegretto energico

1. われらへいわのきしそせい
2. おおいなるわがちちののこ

ぎのためにいさまみてすすむか
せしあとをしたいてすすむそ

がやくあさのひ一かりそは
の一まことのみ一ちはわれ

われらのきぼうのしるしなりラララ
らのゆくてをあかるくたらす

せかいいのーともーラララ
いざすすめーと

もにちからをあわせりそ
うのみねをめざしてすすめ

1..われら平和の騎士ぞ 正義のために勇みて進む
かがやく朝の光 そは われらの希望のしるしなり
ラララ世界の友 ララライざ進め
ともに力を合せ 理想のみねをめざして進め

2. おおいなるわが父の のこせし跡を慕いて進む
その誠の道は われらのゆくてを明かるく照らす
ラララ世界の友 ララライざ進め
ともに力を合せ 理想のみねをめざして進め